

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	トレーニングにおけるエクササイズテクニック	担当教員 (実務経験)	大菅 貴広 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トレーニング指導者		
対象年次・学期	2年・3年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	トレーニングテクニックについて理論と実践を交えて学び、より深くトレーニングを理解する				
到達目標	同上				
テキスト・参考図書等	トレーニング指導者テキスト理論編 改訂版 トレーニング指導者テキスト実践編 改訂版				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	小テストを5回実施予定、その他受講態度、出席状況を考慮して評価する。オンライン授業の際は提出部を重要視し、評価の対象とする		
	レポート	%			
	小テスト	50%			
	提出物	%			
	その他	50%			
履修上の留意事項	配布資料の保管等、管理を徹底すること				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション・トレーニング業界	学習到達目標、トレーニング業界について		
	2	筋力トレーニングの実際(筋力トレーニングの実施にあたって)	基本的な筋力トレーニングに関わる基礎知識		
	3	胸部エクササイズ	胸部エクササイズについて解剖学・動作・指導法などを中心に学ぶ		
	4	背部エクササイズ	背部エクササイズについて解剖学・動作・指導法などを中心に学ぶ		
	5	肩部エクササイズ	肩部エクササイズについて解剖学・動作・指導法などを中心に学ぶ		
	6	腕部エクササイズ	腕部エクササイズについて解剖学・動作・指導法などを中心に学ぶ		
	7	大腿部・臀部エクササイズ	大腿部・臀部エクササイズについて解剖学・動作・指導法などを中心に学ぶ		
	8	大腿部・臀部エクササイズ	大腿部・臀部エクササイズについて解剖学・動作・指導法などを中心に学ぶ		
	9	体幹部エクササイズ	体幹部エクササイズについて解剖学・動作・指導法などを中心に学ぶ		
	10	体幹部エクササイズ	体幹部エクササイズについて解剖学・動作・指導法などを中心に学ぶ		
	11	パワー向上エクササイズ	パワーエクササイズについて解剖学・動作・指導法などを中心に学ぶ		
	12	パワー向上エクササイズ	パワーエクササイズについて解剖学・動作・指導法などを中心に学ぶ		
	13	スピード向上エクササイズ	スピードエクササイズについて解剖学・動作・指導法などを中心に学ぶ		
	14	スピード向上エクササイズ	スピードエクササイズについて解剖学・動作・指導法などを中心に学ぶ		
15	授業のまとめ				

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	スイミング理論		担当教員 (実務経験)	今井 由美子 有 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	3年 / 2年・通年		必修・選択区分	選択	単位数	4単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	水の特性・効果等を理解し、実際の泳ぎに結びつける。水泳コーチ1検定に必要な専門分野の知識を学び、検定合格を目指す。					
到達目標	水泳コーチ1合格に向けて、理解し述べる事が出来る。					
テキスト・ 参考図書等	水泳指導教本・プリント					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験		各章終了後の小テスト、提出物、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。			
	レポート					
	小テスト	70%				
	提出物	10%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項	各講義のテーマ毎にプリントを配布、水泳指導教本を使用し講義形式にて板書、説明を交えながら授業を展開する。、覚えることがたくさんあって大変ですが、実技のレベルアップのためにも重要な内容です。また、水泳指導をおこなう上でも必要な基本的知識なので、実際の指導に役立てられるように頑張って習得しましょう。水泳コーチ1を受験する学生は、必ず履修してください。また、まだ迷っているという学生も履修してください。実技にも役立ちます。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	ガイダンス 第1章 水泳の歴史	授業の趣旨、内容説明 1-1. 水泳の起源と発展			
	2	第1章 水泳の歴史	1-2. 日本水泳の歴史と発展			
	3	第2章 水泳指導	2-1. 水泳指導者			
	4	第2章 水泳指導	2-2. スポーツとモラル			
	5	第2章 水泳指導	2-2. スポーツとモラル 2-3. 指導法			
	6	第2章 水泳指導	2-3. 指導法			
	7	小テスト				
	8	第3章 水泳の安全	3-1. 水泳事故総論 3-2. 水泳プール事故			
	9	第3章 水泳の安全	3-2. 水泳プール事故 3-3自然の水域における事故			
	10	第3章 水泳の安全	3-4. 水泳プールの管理			
	11	第3章 水泳の安全	3-4. 水泳プールの管理			
	12	小テスト				
	13	第4章 水泳の科学	4-1. 水泳・水中の科学			
	14	第4章 水泳の科学	4-2. 水泳のバイオメカニクス			
15	第4章 水泳の科学	4-2. 水泳のバイオメカニクス				

履修主題・履修内容	16	第4章 水泳の科学	4-3. 水泳の生理学
	17	第4章 水泳の科学	4-4. 水泳の心理学
	18	小テスト	
	19	第4章 水泳の科学	4-5. 水泳のトレーニング
	20	第4章 水泳の科学	4-5. 水泳のトレーニング
	21	第4章 水泳の科学	4-6. 水泳の医学 4-7. 水泳の栄養学
	22	小テスト	
	23	メニュー立案	個人指導
	24	メニュー立案	集団指導
	25	第5章 水泳の技術	5-1. 共通技術
	26	第5章 水泳の技術	5-1. 共通技術
	27	第5章 水泳の技術	5-2. 各種泳法
	28	第5章 水泳の技術	5-2. 各種泳法
	29	競泳競技規則	各種泳法規則
30	小テスト		

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PH/TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	スポーツプログラマー対策		担当教員 (実務経験)	小笠原鷹介 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 中学・高校教師	
対象年次・学期	3年/2年・集中		必修・選択区分	選択	単位数 2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	スポーツプログラマー検定の合格及び資格取得に向けて論理的に理解する。				
到達目標	スポーツプログラマー検定の合格及び資格取得に向けて、得点平均8割台を目標とする。				
テキスト・ 参考図書等	スポーツプログラマー専門科目テキスト 必要に応じて、資料を配布				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	小テスト 50% その他 50%(受講姿勢、受講態度等30%、担当所見20%)		
	レポート	%			
	小テスト	50%			
	提出物	%			
	その他	50%			
履修上の 留意事項	教本、資料を参考に論理的に授業を進め、模擬試験で理解度を確認する。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	運動と健康	運動と健康		
	2		スポーツプログラマーの役割		
	3	フィットネス・エクササイズ の理論と実際	フィットネス・トレーニング		
	4		マシントレーニング		
	5		ヘルス・エクササイズ		
	6	フィットネス・エクササイズ と健康管理	フィットネス・エクササイズと体調		
	7		ウォーミングアップとクーリングダウン		
	8	体力測定と評価	体力測定の方法、測定結果の処理、体力評価とスポーツプログラム		
	9	フィットネスプログラムの 実際	フィットネスプログラムの基本的な方法		
	10		子ども・中年のフィットネスプログラム		
	11		高齢者・女性・障害者のフィットネスプログラム		
	12	スポーツ相談の実際	スポーツ相談の意義、スポーツ相談の実際		
	13	確認テスト	過去問題、解答、説明		
	14	確認テスト	過去問題、解答、説明		
15	確認テスト	過去問題、解答、説明			

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	エアロビックコーチ 対策理論		担当教員	大嶋 春香		
			(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	スタジオインストラクター	
対象年次・学期	3年 / 2年・集中		必修・選択区分	選択	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間	
授業目的	エアロビック指導員取得に向け、実技試験と指導実習試験を合格できるレベルになる。					
到達目標	エアロビックについて学び、論述できる					
テキスト・参考図書等	エアロビック指導教本					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準			
	試験	%	小テストは理論模擬試験で6割以上の点数を取る事 その他は受講姿勢等で評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	80%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の留意事項	例題や模擬試験を行う事で、エアロビックを学び、指導の幅を広げる					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	エアロビックと障害とスポーツ	エアロビックの起源と歴史			
	2	エアロビックと障害とスポーツ	生涯スポーツとエアロビック			
	3	エアロビックの基本構造	運動特性と領域区分			
	4	エアロビックの基本構造	エアロビックの定義、エアロビック技術の基本要素			
	5	エアロビックの基本構造	エアロビックの技術段階、アーム及びフットワーク			
	6	エアロビックと体カトレーニング	エアロビックとフィットネス			
	7	エアロビックと体カトレーニング	トレーニングの原理、トレーニング実施の要素			
	8	エアロビック指導法	指導計画時案、指導の隊形、指導の手段とその留意点			
	9	エアロビック指導の実際	初心者への指導上の留意点、高齢者のエアロビック、目的別指導			
	10	健康安全管理	エアロビックで「起こりやすい障害、熱障害、RICE			
	11	記述練習	200字程度3問			
	12	記述練習	200字程度3問			
	13	記述練習	200字程度3問			
	14	模擬試験	選択式、×式、記述式			
15	模擬試験	選択式、×式、記述式				

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	水泳コーチ 対策理論		担当教員	今井 由美子		
			(実務経験)	有	無	✓
対象年次・学期	3年 / 2年・集中		必修・選択区分	選択	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間	
授業目的	水の特性・効果等を理解し、実際の泳ぎに結びつける。水泳コーチ1検定に必要な専門分野の知識を学び、検定合格を目指す。					
最終到達目標	模擬試験 を6割以上の点数が取れる。					
到達目標	模擬試験 を5割以上の点数が取れる。(第13回終了時授業)					
到達目標	模擬試験 を3割以上の点数が取れる。(第8回終了時授業)					
テキスト・参考図書等	水泳指導教本・プリント					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準			
	試験	%	その他、小テストは模擬試験、受講姿勢等で評価する			
	レポート	%				
	小テスト	70%				
	提出物	%				
	その他	30%				
履修上の留意事項	3科目ある学科の模擬試験を全て6割以上取れるように、教本をよく読み、問題を理解しよう。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	小テスト	復習とまとめ			
	2	模擬試験	模擬試験			
	3	模擬試験 解答・復習	解答・間違えた問題の分析			
	4	第2章 水泳指導				
	5	第3章 水泳の安全				
	6	第4章 水泳の科学				
	7	模擬試験	模擬試験			
	8	模擬試験 解答・復習	解答・間違えた問題の分析			
	9	対策	苦手な部分への傾向と対策			
	10	対策	苦手な部分への傾向と対策			
	11					
	12	模擬試験	模擬試験			
	13	模擬試験 解答復習	解答・間違えた問題の分析			
	14	模擬試験	模擬試験			
15	模擬試験 解答復習	解答・間違えた問題の分析				

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ健康 学科
IN・CO/TR コース

授業科目 (科目ID)	ジュニアスポーツ指導員対策	担当教員 (実務経験)	今北 雄太 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スポーツ指導員		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	必修 / 選択 (TR)	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	ジュニアスポーツ指導員と必要な知識(発育発達、体力、心理、栄養、医学、性差)を理解し、検定合格を目指す。				
到達目標	子どもの発育発達段階に沿った運動プログラムを作成し指導実践できる。				
テキスト・ 参考図書等	公認ジュニアスポーツ指導員専門科目テキスト				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験	70%	模擬試験の他、提出物、受講姿勢等で総合的に評価する。		
	レポート				
	小テスト				
	提出物	10%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	ジュニアスポーツ指導員は子ども達にとって憧れの存在です！運動技能はもちろん、心の成長を目の当たりにすることが出来る素晴らしいがあります。ジュニアスポーツ指導員合格を目指して頑張りましょう！！				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	ジュニアスポーツ指導員 対策理論 1	第1章 概論 子どもの体力・運動能力の現状と課題～ジュニアスポーツ指導員の役割など		
	2	ジュニアスポーツ指導員 対策理論 2	第2章 コーチング 発達に応じたコーチングとコーチングにおける留意点		
	3	ジュニアスポーツ指導員 対策理論 3	第3章 体力 発育期発達期の体格、体力、体力テスト		
	4	ジュニアスポーツ指導員 対策理論 4	第4章 動きの発達 幼児期、児童期、思春期以降		
	5	ジュニアスポーツ指導員 対策理論 5	第5章 心理 有能感の発達、運動遊びと認知的発達		
	6	ジュニアスポーツ指導員 対策理論 6	第6章 栄養 ジュニア期の栄養バランス		
	7	ジュニアスポーツ指導員 対策理論 7	第7章 医学 小児の成長、安全で科学的な運動指導		
	8	ジュニアスポーツ指導員 対策理論 8	第8章 医学 ジュニア期のスポーツ外傷・障害の実際		
	9	ジュニアスポーツ指導員 対策理論 9	第9章 女性とスポーツ 女性において起こりやすい諸問題		
	10	ジュニアスポーツ指導員 対策理論 10	第10章 運動遊び 遊び、アイスブレイクとレパートリーアレンジ		
	11	ジュニアスポーツ指導員 模擬試験 1	第1章と2章		
	12	ジュニアスポーツ指導員 模擬試験 2	第3章と4章		
	13	ジュニアスポーツ指導員 模擬試験 3	第5章と6章		
	14	ジュニアスポーツ指導員 模擬試験 4	第7章と8章		
15	ジュニアスポーツ指導員 模擬試験 5	第9章と10章			

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科
AT・MT・PH / TR・IN・CO コース

授業科目 (科目ID)	JATIトレーニング指導者対策		担当教員 (実務経験)	千保 大聖 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トレーニング指導者	
対象年次・学期	3年 / 2年・集中		必修・選択区分	必修(PH・TR)・選択	単位数 2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15回	時間数	30時間
授業目的	スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導の専門家として活動する為の知識を学ぶ。				
到達目標	対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要とされる知識を習得し、JATIトレーニング指導者の資格試験に合格する。				
テキスト・参考図書等	トレーニング指導者テキスト理論編 / トレーニング指導者テキスト実践編 / その他配布プリント等				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験	%	その他(受講姿勢等)を総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	100%			
履修上の留意事項	各章に対しての出題				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	JATI認定トレーニング指導者 練習問題 1	トレーニング指導者論 / 各種トレーニング法の理論とプログラム(筋力・パワー持久力)		
	2	JATI認定トレーニング指導者 練習問題 2	各種トレーニング法の理論とプログラム(スピード・柔軟性・特別な対象)		
	3	JATI認定トレーニング指導者 練習問題 3	各種トレーニング法の実際(筋力トレーニングの実際)		
	4	JATI認定トレーニング指導者 練習問題 4	各種トレーニング法の実際(パワー・持久力・スピード・柔軟性向上)		
	5	JATI認定トレーニング指導者 練習問題 5	トレーニングの効果の測定と評価(測定データの活用)		
	6	JATI認定トレーニング指導者 練習問題 6	体力総論 / 機能解剖 / バイオメカニクス / 運動生理学 / 栄養		
	7	JATI認定トレーニング指導者 練習問題 7	運動と栄養 / 運動と心理 / 運動と医学 / 運動指導の科学		
	8	JATI認定トレーニング指導者 模擬試験 1	一般科目 1		
	9	JATI認定トレーニング指導者 模擬試験 1	専門科目 1		
	10	JATI認定トレーニング指導者 模擬試験 2	一般科目 2		
	11	JATI認定トレーニング指導者 模擬試験 2	専門科目 2		
	12	JATI認定トレーニング指導者 模擬試験 3	一般科目 3		
	13	JATI認定トレーニング指導者 模擬試験 3	専門科目 3		
	14	JATI認定トレーニング指導者 模擬試験 4	一般科目 4		
15	JATI認定トレーニング指導者 模擬試験 4	専門科目 4			

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PH コース/TR コース

授業科目 (科目ID)	BRSO対策	担当教員 (実務経験)	高田 健介 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 鍼灸師		
対象年次・学期	3年/2年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	2単位
授業形態	講義・実技	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	安心・安全にリラクゼーションを行う為の試験対策				
到達目標	BRSO検定合格				
テキスト・ 参考図書等	リラクゼーションセラピストのための教科書 ポディリラクゼーション従事者安全・安心機構 静風社				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	試験、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	検定対策で模試と解答を中心に講義をします。				
履修主題・ 履修内容		履修主題	履修内容		
	1	模試 1回目	本番を想定した過去問や練習問題 1回目		
	2	解答・解説	模試の解答・解説		
	3	実技対策	基本手技の練習		
	4	模試 2回目	本番を想定した過去問や練習問題 2回目		
	5	解答・解説	模試の解答・解説		
	6	実技対策	基本手技の練習		
	7	模試 3回目	本番を想定した過去問や練習問題 3回目		
	8	解答・解説	模試の解答・解説		
	9	実技対策	実技試験の流れの練習		
	10	模試 4回目	本番を想定した過去問や練習問題 4回目		
	11	解答・解説	模試の解答・解説		
	12	実技対策	実技試験の流れの練習		
	13	模試 5回目	本番を想定した過去問や練習問題 5回目		
	14	解答解説	模試の解答・解説		
15	実技対策	実技試験の流れの練習			

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ健康 学科
TR コース

授業科目 (科目ID)	トレーニング指導者理論	担当教員 (実務経験)	千保 大聖 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トレーニング指導者		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	日本トレーニング指導者協会(JATI)認定トレーニング指導者に必要な知識を学び、主に一般科目の内容を学習する。				
到達目標	日本トレーニング指導者協会(JATI)認定トレーニング指導者の合格を目標とする。				
テキスト・ 参考図書等	トレーニング指導者テキスト[理論編]、[実践編]				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	20%	試験、小テスト、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート				
	小テスト	40%			
	提出物				
その他	40%				
履修上の 留意事項	講義形式にて、テキスト、プリント、パワーポイントを中心に、板書・説明を交えながら授業を展開していきます。「JATI認定トレーニング指導者」資格取得に向けた内容が中心です。テキスト内容以外にもトレーニング指導現場での内容も盛り込んでいきます。普段の出席状況や取り組み姿勢、小テストの結果を中心に評価します。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	トレーニング業界について、模擬試験	アメリカ三大組織、日本のトレーニング団体、JATI - ATI模擬問題の実施		
	2	様々なトレーニング方法1	スロートレーニング・加圧トレーニングetc...		
	3	様々なトレーニング方法2 小テスト	ファンクショナルトレーニングetc...		
	4	特別な対象のためのトレーニングプログラム1	糖尿病1		
	5	特別な対象のためのトレーニングプログラム2 小テスト	糖尿病2		
	6	特別な対象のためのトレーニングプログラム4	脂質異常症1 ~ 高脂血症 ~		
	7	特別な対象のためのトレーニングプログラム5 小テスト	脂質異常症2 ~ 高脂血症 ~		
	8	特別な対象のためのトレーニングプログラム6	心臓病1 ~ 心臓の役割、構造、年代別心臓病 ~		
	9	特別な対象のためのトレーニングプログラム7 小テスト	心臓病2 ~ 心臓の役割、構造、年代別心臓病 ~		
	10	模擬試験	JATI - ATI模擬問題の実施		
	11	模擬試験	JATI - ATI模擬問題の実施		
	12	模擬試験	JATI - ATI模擬問題の実施		
	13	模擬試験	JATI - ATI模擬問題の実施		
	14	模擬試験	JATI - ATI模擬問題の実施		
15	模擬試験	JATI - ATI模擬問題の実施			

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー 学科
PH コース

授業科目 (科目ID)	スポーツスキル	担当教員 (実務経験)	小笠原 鷹介 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 中学、高校教師		
対象年次・学期	3年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	指導に関する留意点を学ぶ、各運動種目の特性を学ぶ。				
到達目標	様々なスポーツの特性を深く理解し、それらを活用し適切な指導をする事ができる。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	試験(指導実践)、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	40%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	30%			
履修上の 留意事項	オンデマンド型教材や課題を用いながら進めていきます。各運動種目の特性、指導方法、留意点について学び、それらを活用し適切な指導方法についてグループ毎に考えていきます。指導方法に関する提出物、指導実践の内容を中心に評価を行います。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	ガイダンス	授業の説明		
	2	種目1～6のスポーツにおける 運動指導、及び安全管理 運動指導における留意点 【種目】 1.フットサル 2.サッカー 3.バスケットボール 4.バレーボール 5.ハンドボール 6.ニュースポーツ 種目1～6の実施順を入れ替える場合があります	1.フットサル		
	3		2.サッカー		
	4		3.バスケットボール		
	5		4.バレーボール		
	6		5.ハンドボール		
	7		6.ニュースポーツ		
	8		指導案作成		
	9		指導案作成		
	10		指導実践		
	11		指導実践		
	12		指導実践振り返り		
	13		指導案修正		
	14		指導実践		
15	指導実践				

履修主題・履修内容	16	ガイダンス	後期授業の説明
	17	種目1～6のスポーツにおける 運動指導、及び安全管理 運動指導における留意点 【種目】 1. 野球 2. テニス 3. バドミントン 4. 卓球 5. ラグビー 6. 陸上 種目1～6の実施順を入れ替える場合があります	1. 野球
	18		2. テニス
	19		3. バドミントン
	20		4. 卓球
	21		5. ラグビー
	22		6. 陸上
	23		指導案作成
	24		指導案作成
	25		指導実践
	26		指導実践
	27		指導実践振り返り
	28		指導案修正
	29		指導実践
30	指導実践		